

金山駅周辺まちづくり構想

【概要版】



平成 29 年 3 月

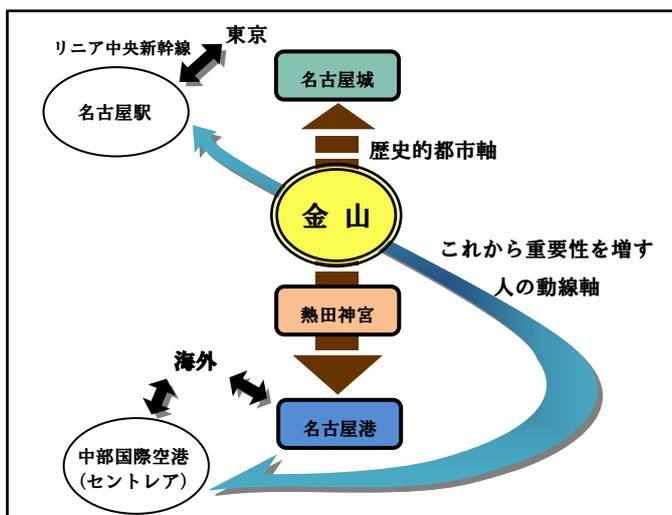
名古屋市

1. 趣旨

金山では、これまで、アスナル金山の開発など、金山北地区を中心としたまちづくりが展開され、人の流れや開発動向の変化に伴い、金山総合駅の一日の乗降客数が中部圏で名古屋駅に次いで2番目となっています。

また、金山は名古屋城と熱田神宮を結ぶ歴史的な都市軸上に位置するとともに、今後は、海外との玄関口であるセントレア（中部国際空港）と、2027（平成39）年に開業を迎えるリニア中央新幹線の東京との玄関口となる名古屋駅とを結ぶこれからの人の動線軸上にも位置しており、この2つの軸のクロスポイントでは都市機能の集積など新たな役割を果たすことが大いに期待されています。

そこで、これまでの経緯や現状を踏まえるとともに、今後の金山の新たな役割を見据え、新たなまちづくりの構想を策定するものです。



2. 対象範囲

今後の開発が見込まれる市有地を中心に、これらの開発等の波及効果が及ぶと考えられる周辺を含めた範囲（約 41ha）を、この構想の対象範囲とします。なお、この範囲を当構想では「金山地域」と称します。

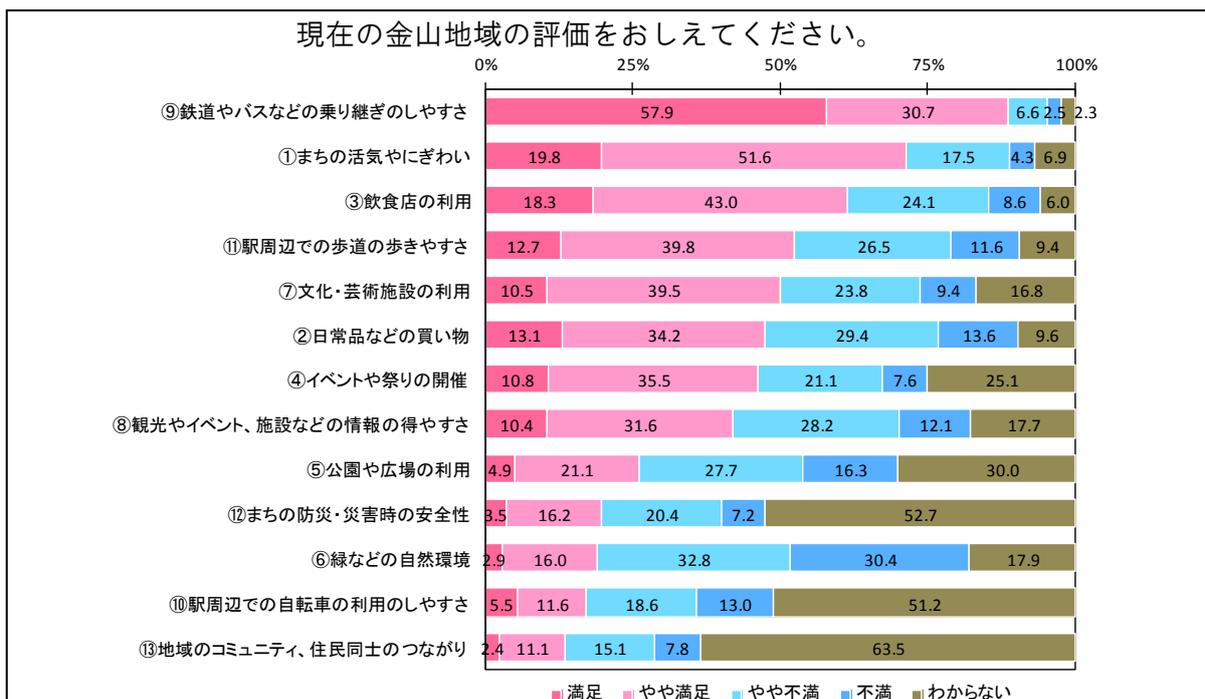


3. アンケート結果

平成 27 年度に駅利用者や居住者、事業者、地権者、外国人といった金山地域に関係する幅広い層を対象にアンケート調査等を実施し、合計で3,254名の方にご回答いただきました。

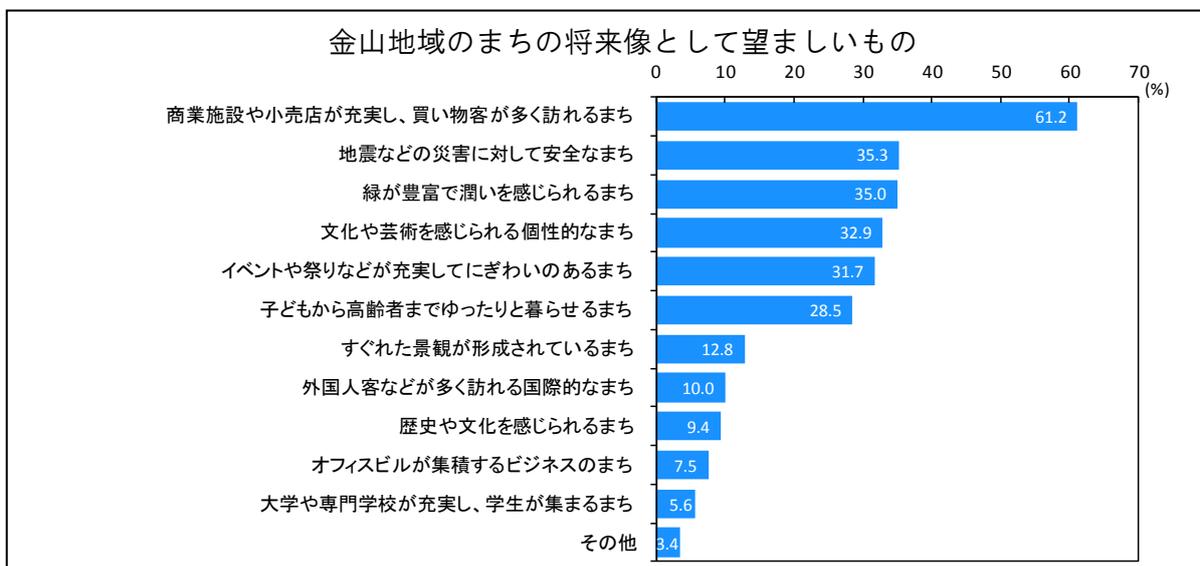
(1) 現況評価

交通結節点としての乗り継ぎのしやすさ、まちなぎわいや飲食店利用の面では満足度が高くなっている一方、公園や広場の利用、災害時の安全性などの面では満足度が低く、今後のまちづくりの課題になると考えられます。



(2) 将来ニーズ

アスナル金山や飲食店など商業施設の立地が現在の地域の特長の1つとなっていますが、より一層の商業施設の導入と商業中心のまちづくりへの期待が高くなっている一方、災害に対して安全なまちや、緑や文化・芸術、イベント、暮らしやすさも求められています。



4. 課題

名駅・栄との連携・差別化 <p>価値観・ライフスタイルが多様化する中、金山が持つ文化・芸術などの多様な特性を活かした金山独自のまちづくりが求められており、それと同時に、名駅・栄・金山の3地域の連携による相乗効果を生み出し、名古屋の都市魅力を向上させていく必要があります。</p>	土地の有効活用 <p>名駅や栄に並ぶ広域の交通結節点として、業務や商業機能をはじめ、国際的な視点からは宿泊機能、また女性や子ども、高齢者などを意識した機能など、将来ニーズを見据えた都市機能の導入・集積をはかるために、更なる土地の有効活用が求められています。</p>
にぎわいとうるおい機能の継続・集積 <p>アスナル金山の開発がにぎわい創出に貢献している一方で、駅前では緑化空間が少なくなっています。施設の更新をする際には、にぎわい機能が途絶えることのないような事業手法の検討を行うとともに、金山地域全体として、更なるにぎわいとうるおいの創出に貢献する施設の集積が求められています。</p>	回遊性の拡大 <p>地上レベルにおいて来街者の行動範囲が広がることは地域の活性化につながるため、更なる地上レベルでの回遊性の拡大が求められています。また、地域内での歩行者の回遊性はもとより、地域外を含め、公共交通との連携なども考慮した回遊性の拡大が求められています。</p>
ホール機能の継承 <p>更新にあたってホール機能が中断すると、現状でも市内でのホールの不足感がある中、明らかな供給不足となり、コンサートや催しなどの開催が困難になることが懸念されます。文化交流活動を維持・継続するためにも、市民会館のホール機能を中断することなく継承しながら更新していくことが求められています。</p>	災害時の対応 <p>金山総合駅は、多数の乗降客数を有する駅であるため、地震などの大規模な災害の発生時には、帰宅困難者の集中が想定されます。南海トラフ巨大地震や頻発する大雨が懸念される中、避難スペースの拡充、帰宅困難者対策、防災意識の向上などの防災・減災に早急に取り組んでいく必要があります。</p>
駅利用者の滞留空間等の充実 <p>金山駅周辺の来街者が増加する中、多数の駅利用者のための滞留空間、イベント開催などのための広場空間といった、多様な目的に利用できる、十分な広さを持つオープンスペースの確保が求められています。</p>	交通結節点機能の充実 <p>多様な駅利用者や外国人観光客の増加が想定され、金山総合駅連絡通路橋の耐震改修を実施するとともに、鉄道以外の交通手段への乗換利便性を更に向上させ、利用者それぞれのニーズに柔軟に対応することが求められています。</p>

5. コンセプト

交通拠点から交流拠点へ

～にぎわい・文化・芸術の継承と新たな役割を求めて～

金山総合駅は、名古屋市内だけでなく、鉄道により三河地方などの愛知県内、さらには岐阜など愛知県外や、名古屋駅、中部国際空港、名古屋港とも結ばれており、広域な国内外からの来街者も想定されます。一方で、駅周辺には住居が近接しており、多くの住民の方が存在するといった特徴も有しており、多様な来街者が想定される金山駅周辺では単なる交通拠点としてではなく、ユニバーサルデザインの基にデザインされた、便利で国際的な交流拠点としての役割が期待されています

今後は、防災機能やこれまで培われた文化芸術機能を兼ね備えるとともに、土地の有効活用により、商業、オフィスなどの都市機能の充実をはかることで、人々の創造性が生まれ、老若男女誰もが集い・楽しめる、にぎわいあふれるまちを形成します。

6. 基本方針

(1) にぎわいとるおいの継承・発展

- ① 都市機能の集積
- ② 商業機能等の再編
- ③ 金山地域内外の回遊性の向上

(2) 文化芸術や創造拠点等の集客性向上

- ① 市民会館の機能更新
- ② まちかどからの文化・芸術の発信
- ③ 金山南ビルの活用

(3) 地域防災力の強化

- ① 安全確保施設の充実
- ② 防災意識の向上
- ③ 広域避難場所の活用

(4) 交通結節点の機能強化

- ① 乗り継ぎ利便性の確保
- ② 情報発信機能の充実
- ③ 来街者向けサービスの提供



駅北側には緑豊かな広いオープンスペースが設けられ交流拠点の中心として機能しています



オープンカフェなど、家族連れや子ども達が楽しめる仕掛けの展開が想定されます

基本方針1 にぎわいとるおいの継承・発展

①都市機能の集積

将来増大するポテンシャルへ対応するためニーズを想定し、商業業務施設や、共同住宅、公園を再配置する事で必要な機能を確保するとともに、公開空地の活用等により地域全体で今まで以上のオープンスペースを確保するなど、更なる都市機能の集積をはかっていきます。

効果的に都市機能の集積を図るために、都市計画制度や国の支援措置などの活用を検討し、容積率などの規制緩和による高度利用や敷地の集約化などによる土地の有効利用を可能として、より実現性や効果の高い事業の展開を促進していきます。

②商業機能等の再編

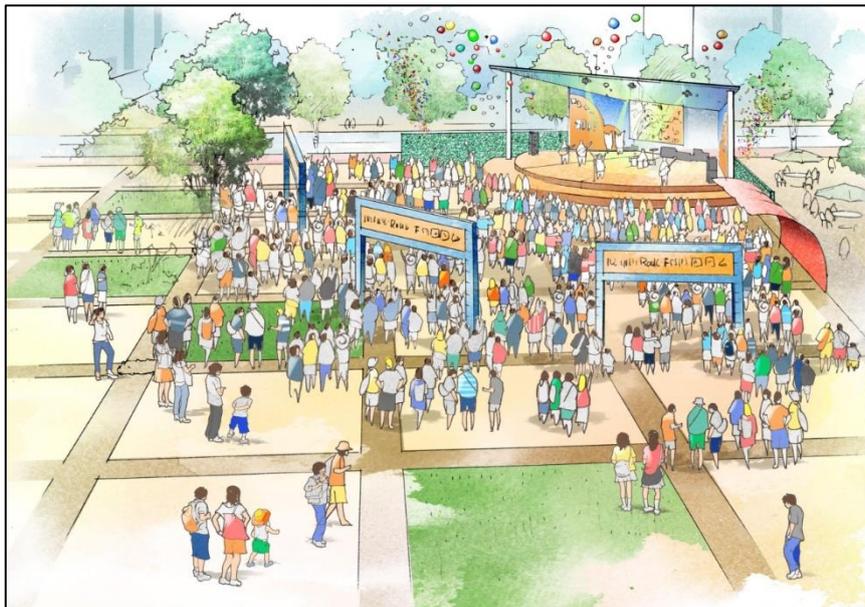
アスナル金山の整備によって地域全体のにぎわいが増しましたが、イベント時には通行の妨げになるなど、ソフトの成長に対しハードが受け切れていない場合も見受けられます。

今後は、駅前の商業機能の継承をはかりながら、周辺商店街との相乗効果を更に発揮できるよう商業施設を再編するとともに、駅利用者のゆとりある滞留やイベントの開催ができるよう、施設の拡充、再配置を行っていきます。

③金山地域内外の回遊性の向上

金山地域では、イベントを始めとした地域活性化の取り組みが行われ、地域内外に多数の地域資源を有するとともに、周辺には熱田や白鳥、大須など特徴ある地域が位置しています。

今後は、地域内においては、建物の更新に合わせた壁面後退や公開空地の創出により、回遊性の高い歩行者ネットワークを確保するとともに、周辺の他地域との関係においては、公共交通等による連携強化、来街者に対する情報発信などによって、地域内外の回遊性の向上をはかります。



金山にくるとステージではイベントが開催されており、にぎわいの中心を担っています

基本方針2 文化芸術や創造拠点等の集客性向上

①市民会館の機能更新

市民会館は高い利用率を誇るものの、老朽化などが問題となりつつあり、機能更新の検討も必要となっています。

今後は、ホール機能の継続を前提に、別敷地で建設するなどホール機能が途切れることがないような整備手法を検討していきます。また、これまでの鑑賞を中心とするホール機能にあわせて、創造的活動ができる空間など、文化・芸術活動との多様な関わり方ができる施設となるような検討を進めます。

②まちかどからの文化・芸術の発信

金山地域内では、音楽プラザのサロンコンサートや金山南ビル1階のインターコモンでのアンサンブル演奏、アスナルステージや金山総合駅南口でのパフォーマンスなどが行われ、まちかどで音楽を楽しむことができます。

今後は、駅前の広場などを活用して、音楽や芸術活動が行われ、金山地域の来街者が、更に文化・芸術活動にふれることができるまちづくりをめざします。

③金山南ビルの活用

金山南ビル低層棟には名古屋ボストン美術館が入っており、芸術面のにぎわい創出に寄与してきましたが、2018(平成30)年度には契約が終了する事が決まっています。

一方、高層棟には名古屋都市センターが入っており、まちづくりに関する調査研究、情報収集、人材育成・交流の役割を果たす創造の拠点となっています。

今後は、金山総合駅に隣接するアクセスの良さを活かしつつ、地域のにぎわいづくりに寄与できる活用方法について検討を進めていきます。



まちかどでは様々な文化・芸術活動が展開されています

基本方針3 地域防災力の強化

①安全確保施設の充実

金山総合駅では、名古屋駅で策定されているような、大規模な地震に対応するための都市再生安全確保計画は策定されていません。また、鉄道が運休するような大雨時においても、人が多数押し寄せる可能性があります。

今後は、エリア防災計画等を作成し、その計画に基づき、退避施設の確保に努めるとともに、備蓄倉庫、情報伝達施設、非常用発電設備の整備に向け検討していきます。また、大雨時の対応策についても検討していきます。

②防災意識の向上

金山総合駅は市内有数の交通結節点であることから、地震等の災害発生時には、行政を始め多様な主体が協力して避難誘導や情報提供などの対応を行う必要があります。

今後は、エリア防災計画等に基づき、多様な主体による避難訓練の実施や情報伝達ルール、備蓄ルールを確立し、幅広く周知し協力を求めることにより、金山地域全体で防災意識が向上するよう努めます。

③広域避難場所の活用

名古屋市内では広域避難場所が107箇所指定されており、金山駅周辺に近い所では葉場公園が指定されています。また、金山駅周辺において大規模な火事が発生した場合には、広域避難場所まで安全かつすみやかに避難するために、避難場所の周知や案内が重要となっています。

今後は、災害発生時において適切な運用が可能となるよう、広域避難場所の活用のあり方について検討していきます。



駅北側のオープンスペースでは、防災訓練が実施されています

基本方針4 交通結節点の機能強化

①乗り継ぎ利便性の確保

金山駅は総合駅化により、鉄道、バス、タクシーを始め、他の交通手段への乗換えの拠点になっていますが、一部で場所が分かりにくい等の課題が残された状況となっています。

今後も多数の利用者が想定されるため、金山総合駅連絡通路橋などにおいては、バスターミナル等への分かりやすい誘導を実施するための連続的なサインを設置するとともに、サインの規格を定め、それに基づいた同様のサインによる表示をめざします。

②情報発信機能の充実

金山地域では、市内外からのアプローチがしやすいため、様々なイベントに多数の参加者が集まってきます。一方、災害時には、多数の駅利用者が金山総合駅連絡通路橋などに滞留することが想定されています。

今後は、多種多様なイベント情報とともに、迅速かつ的確な防災情報の提供がされるよう検討していきます。

③来街者向けサービスの提供

金山総合駅周辺は、多種多様な人に利用されており、女性や高齢者、体の不自由な方など、どなたにも利用しやすいまちのデザインが求められています。また、中部国際空港と直結し、周辺には国際会議場が位置するなど、国内外の来街者の拠点となることが期待されています。

今後は、託児所や授乳スペースの設置や、名古屋の国際コンベンションゾーンとして、国内外の多種多様な来街者に対し Wi-Fi スポットの設置など、将来ニーズに応じたサービスの提供がはかれるよう検討していきます。



国内外からの来街者に多様なサービスが提供されます

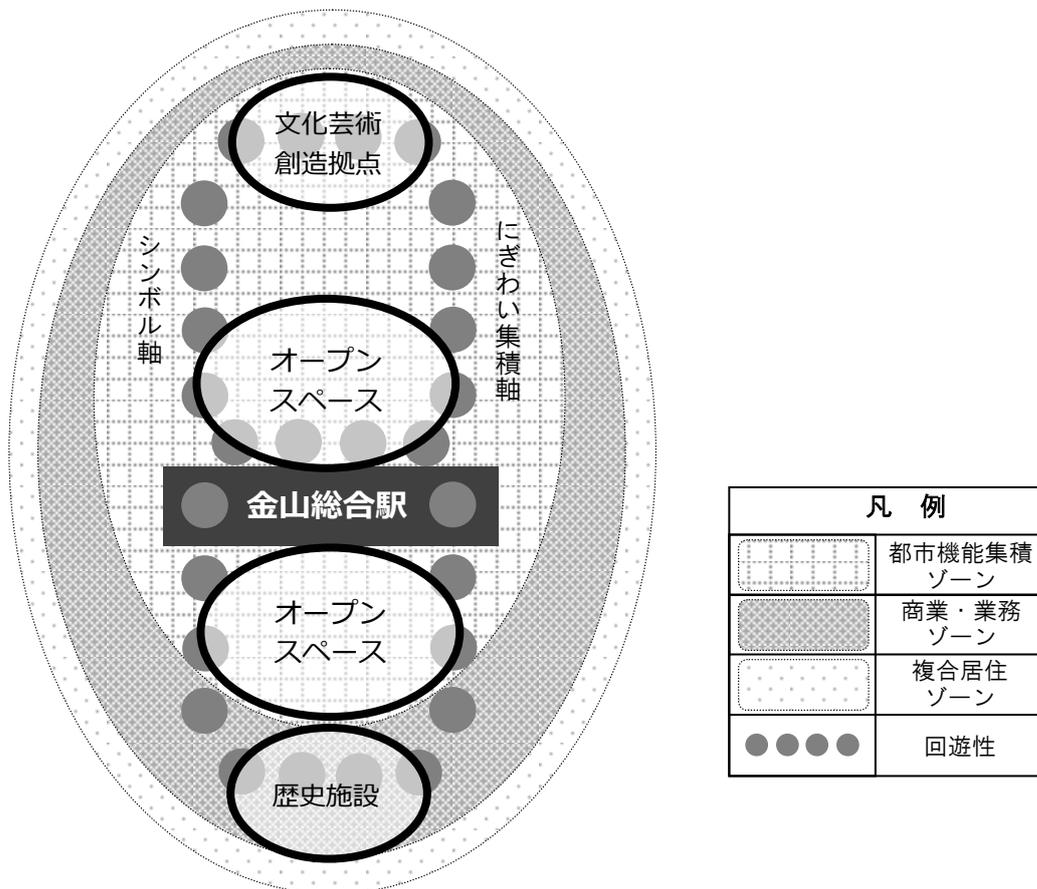
7. 土地利用構想

(1)機能配置イメージ

金山総合駅を中心に、今後、更に都市機能の集積が期待されているエリアを都市機能集積ゾーンとし、それを囲むように商業・業務施設に適した商業・業務ゾーン、更にその外側については高層の共同住宅も踏まえた複合居住ゾーンとします。

また、金山総合駅直近にオープンスペースを配置し、にぎわいの集積、防災性の向上、緑地の充実等により魅力ある空間を創出する事で、単なる乗換え利用から、金山地域に1歩踏み出す目的性を生み出します。

さらに、目的性の高い魅力ある施設を金山地域の両端に配置するとともに、それらが、現在、商業等が集積している大津通沿道（以下、にぎわい集積軸と称します）と、新たに金山地域のにぎわいの象徴となるシンボル軸を中心とした歩行者動線で結ぶ事によって、地域全体の回遊性を向上し、金山地域が交流拠点として機能するよう誘導します。



機能配置概念図（イメージ）

(2)土地利用イメージ

金山地域全体のにぎわいを向上させるため、シンボル軸を中心に新たな都市機能を配置していきます。

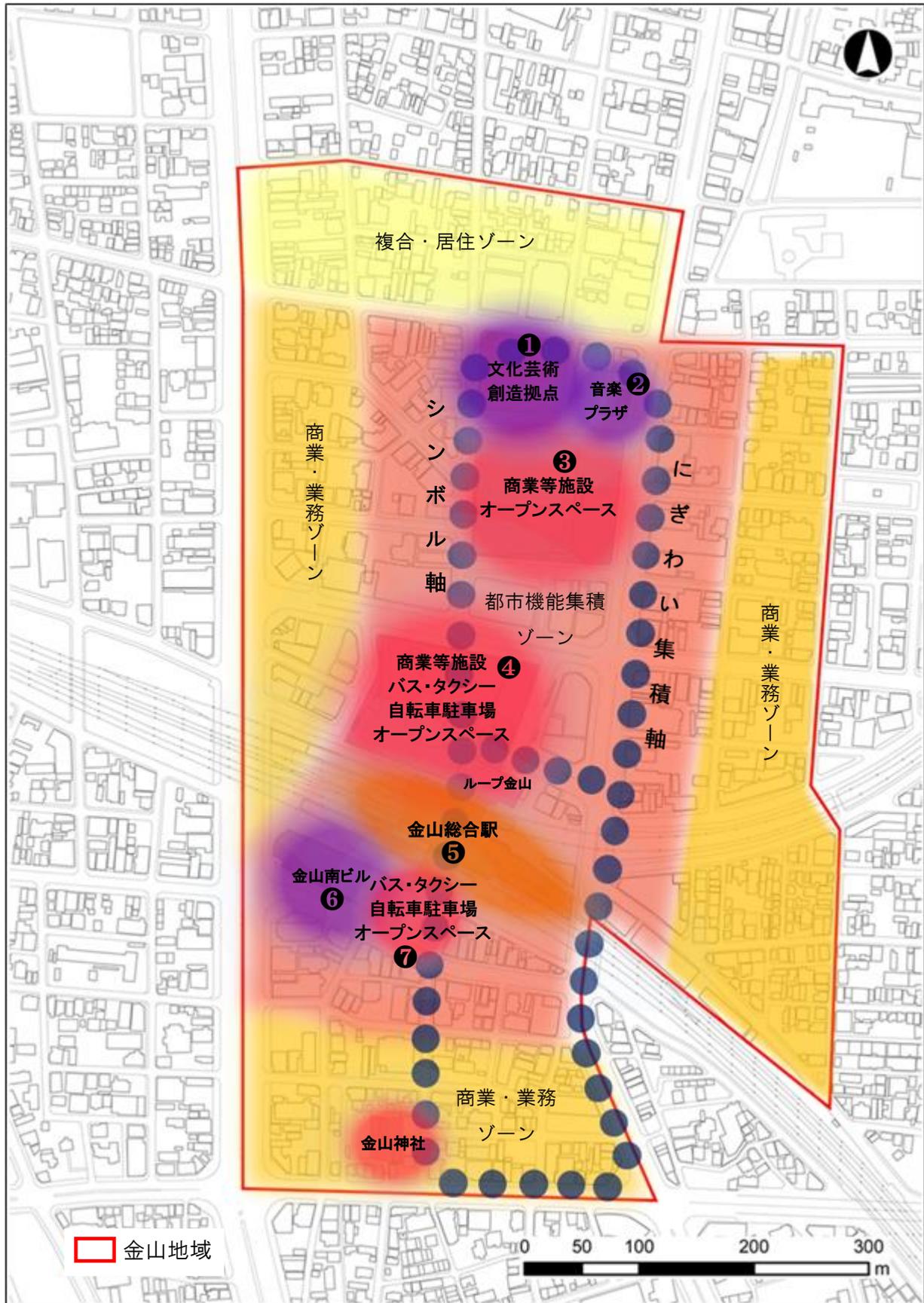
駅の北側の、現在、アスナル金山がある街区には、これまで通り商業等施設、バスターミナル、タクシー乗り場、自転車駐車を配置するとともに、防災機能と緑豊かなうらおい空間を兼ね備えた、これまでより広いオープンスペースを配置し、新たな交流拠点にふさわしい形態を本格整備していきます。

一方、現在、古沢公園となっている街区には、文化・芸術拠点であり、金山地域の集客施設の一つである市民会館を配置し、これまで通り地域のにぎわいに貢献するだけでなく、その利用者には地上を多く歩いてもらい、これまで以上に地域の回遊性の向上に資するものとしていきます。

また、現在、市民会館がある街区には、古沢公園の代替となる公園を配置するとともに、金山地域のにぎわいの象徴であるシンボル軸を意識した商業等施設を誘導します。シンボル軸は、市民会館の利用者も多数利用することから、敷地内も含め広幅員、高品質の歩行者空間を整備していきます。



シンボル軸のイメージ



将来イメージ

今後事業計画等を調整していく過程で、変更となる場合があります。

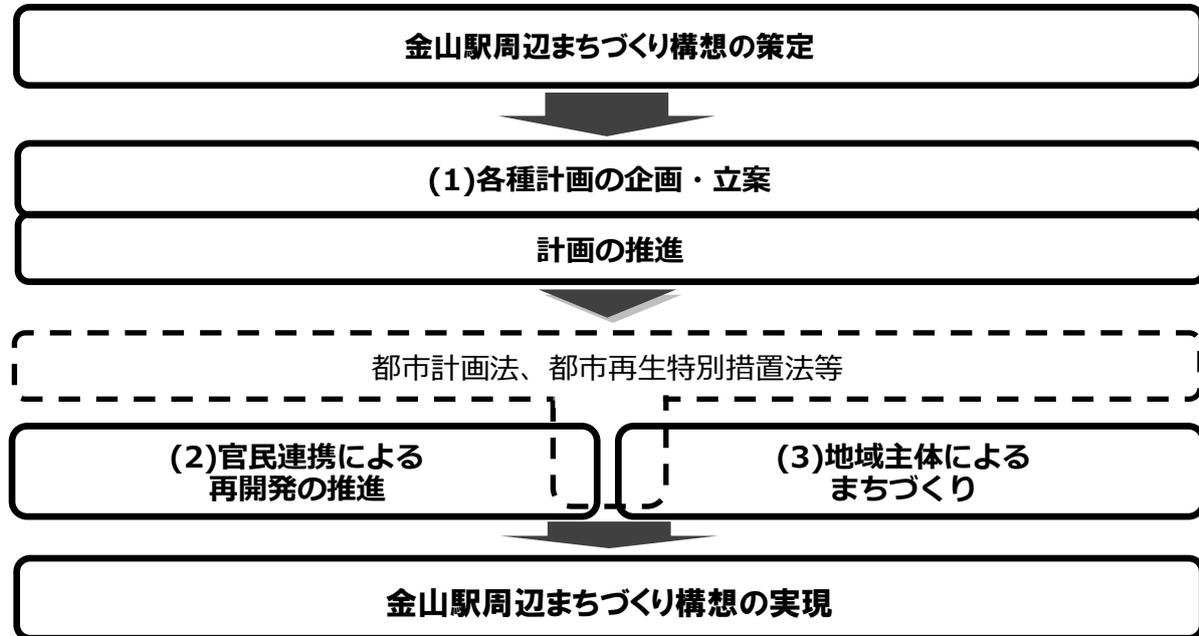
(3)スケジュール

基本方針		施策展開		主な実施主体
にぎわいとつるおいの 継承・発展	都市機能の 集積	機能検討 → 事業計画策定 → 施設整備 → 供用 ① 官民連携の 事業スキーム検討 → 施設整備 → 供用 ③ 施設整備 → 供用 ④		民間事業者 住宅都市局 観光文化交流局
	商業機能等の 再編		施設整備 → 供用 ③ 施設整備 → 供用 ④	民間事業者 住宅都市局 緑政土木局
	金山地域内外 の回遊性の向上	情報内容の検討 → 情報発信 ⑤ → 強化 ④ 歩行者ネットワークの確保		民間事業者 住宅都市局 観光文化交流局
文化芸術や創造拠点等の 集客性向上	市民会館の 機能更新	機能 検討 → 事業計画 策定 → 施設整備 → 供用 ①		民間事業者 観光文化交流局
	まちかどから の文化芸術の 発信	特定エリア での演奏 → 駅前での 演奏 → 地域全体 での演奏 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦		観光文化交流局
	金山南ビル の活用	今後について 検討 ⑥		観光文化交流局
地域防災力の強化	安全確保施設 の充実	計画 検討 → エリア防災計画等策定 → 計画実施		民間事業者 住宅都市局 防災危機管理局 中区役所 熱田区役所
	防災意識の 向上	避難 訓練 → エリア防災計画等策定 → 計画実施		民間事業者 住宅都市局 防災危機管理局 中区役所 熱田区役所
	広域避難場所 の活用	あり方検討		防災危機管理局
交通結節点の機能強化	乗り継ぎ利便 性の確保	動線計画等 の検討 ④ ⑤ ⑦ → サインの 更新 ④ ⑤ ⑦ → 増設 ④		住宅都市局 交通局
	情報発信機能 の充実	情報内容の 検討 → 情報発信 ⑤ → 強化 ④ 提供 方法 → 計画 策定 → 防災情報の提供		民間事業者 防災危機管理局 中区役所 熱田区役所 住宅都市局 観光文化交流局
	来街者向け サービスの 提供	サービス内容 の検討 ④ ⑤ → サービスの 提供 ⑤ → 強化 ④		民間事業者 住宅都市局 観光文化交流局

(4) 構想実現に向けて

構想が策定された後には、具体的な開発に関する事業計画や、エリア防災計画等が企画・立案され、その計画に基づき事業が推進していきます。

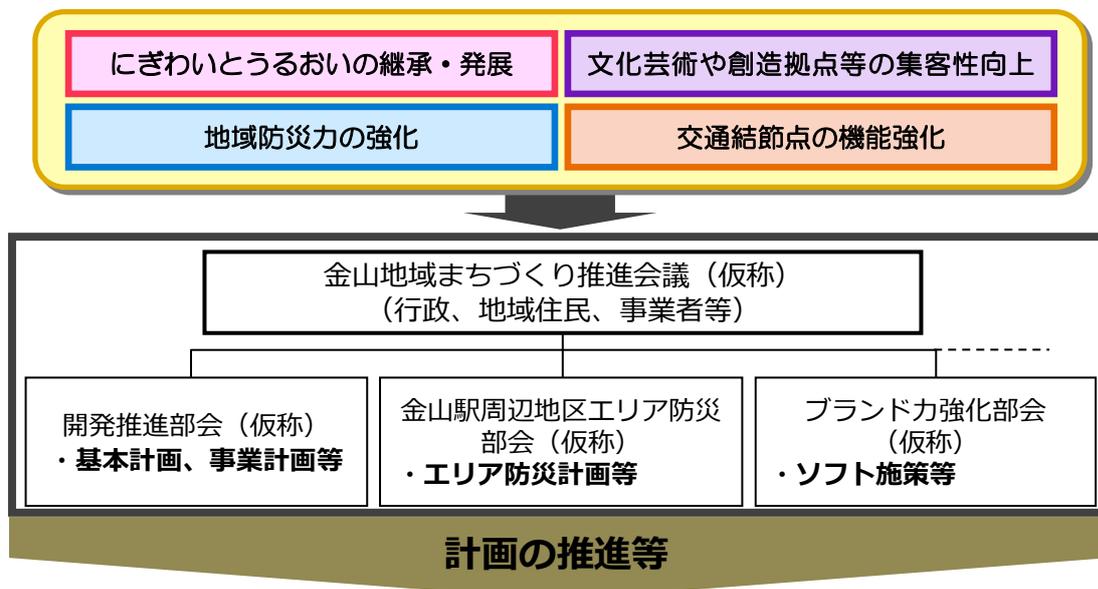
こうした官民連携による事業を効果的かつ円滑に推進するために、都市計画法、都市再生特別措置法の枠組みなどを活用した事業スキームの検討を進めます。



① 各種計画の企画・立案

構想の施策を推進していくために、金山地域の住民や事業者、行政が一体となった「金山地域まちづくり推進会議（仮称）」を設立し、構想の施策推進に関する各種計画を企画・立案して、計画を推進していきます。

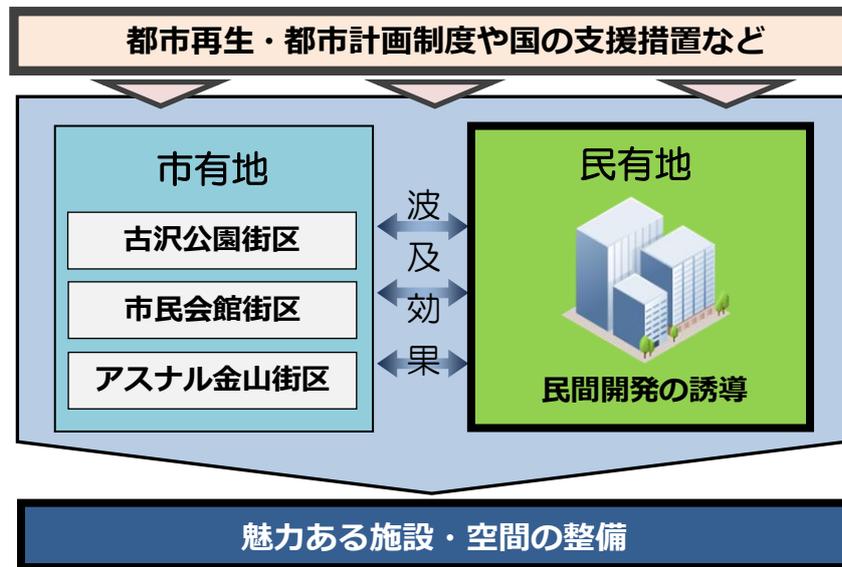
内容が多岐に渡る事が想定されるため、それぞれの専門部会等を設置し議論を進めます。



②官民連携による再開発の推進

金山地域の開発にあたっては、古沢公園街区、市民会館街区、アスナル金山街区の市有地の開発を核としており、これらは、行政が先導的・主体的に関わっていくことになりますが、民間の活力や資金を活用し、官民連携によって推進していきます。

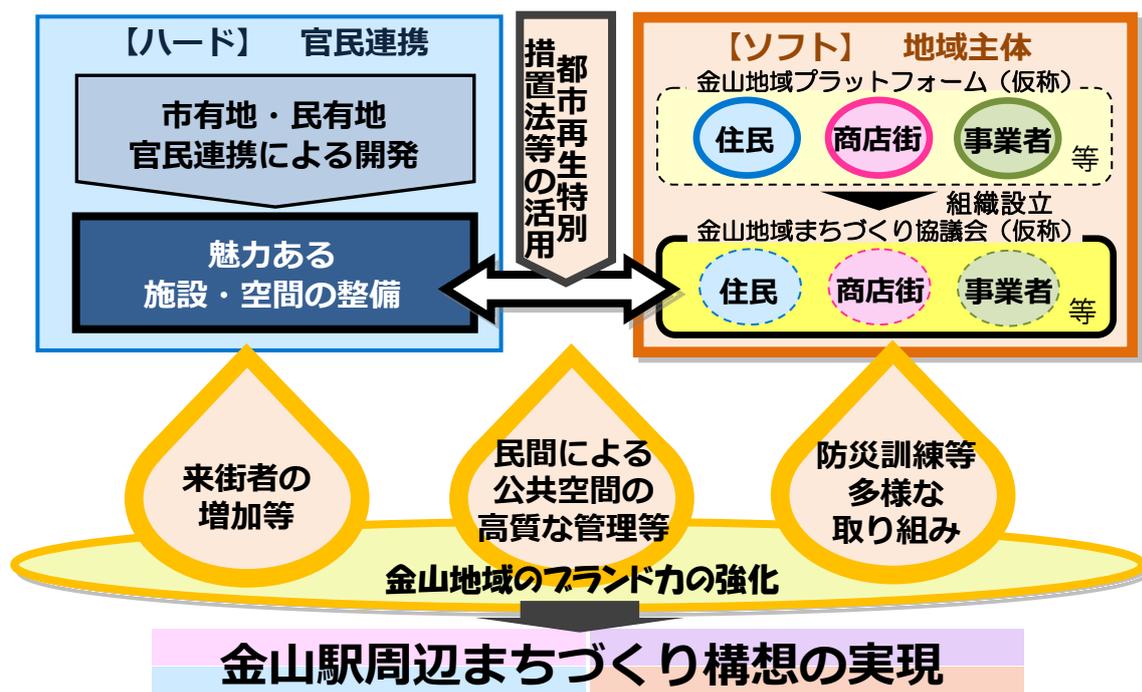
また、これらの3街区以外も含めた全域について、民間開発をより積極的に誘導する事で、地域内に魅力的な施設・空間を整備していきます。



③地域主体によるまちづくり

今後のまちづくりでは、他地域にはない金山地域のブランド力を更に強化し、都市魅力向上につながる総合的なまちづくりを持続的に行っていくことが重要です。

そのためには、地域の商店街や事業者、住民など多様な主体が一体となり組織を設立し、様々な活動に取り組んでいくことが求められます。



金山駅周辺まちづくり構想

交通拠点から交流拠点へ
～にぎわい・文化・芸術の新たな役割を求めて～

名古屋市住宅都市局都市整備部まちづくり企画課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

TEL: **052-972-2739** / FAX: **052-972-4162**

電子メール: a2739@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

